



人権週間とINGキャンペーンに合わせて



人間は、1人1人考え方も受け取り方も違います。だから、すれ違いや勘違い、さらにはトラブルを起こします。国と国同士は、戦争にさえ発展しかねません。

戦争の場合、武器をもって抵抗する人、戦争のないところへ逃げる人、終わるまでじっと我慢する人…。いろいろなことが考えられます。しかし、攻めてきた相手に、武力で返すとどうなります。憎しみが憎しみを生みます。そのうち、なぜ戦争になったのかさえ見失ってしまいます。

さて、先程のトラブルが起きたことに戻します。何かしらの武力抵抗は解決に進むのでしょうか。暴力に暴力で対応したら、憎しみや痛みしか残りません。相手が考えていることも理解できないし、こちらが思ったことも伝わりません。そうです、暴力では何も解決されません。（暴力を暴言に替えても同じことです。この後も読み替えることができます。）



学校では、今までもこれからも暴力をしない、暴力で返さない、暴力を認めない指導を徹底していきます。

保護者の方で、泣き寝入りしないといけないことと思われるかもしれませんが、それでは何も進まないということをご分かってください。子どもたちには、何かしらの暴力を受けたら「すぐに先生に言って」と指導しています。

なぜ、こんな当たり前のことをわざわざ学校だよりで伝えるかという、それは学校においても、依然、暴力がなくなるからです。残念なことに手が出たり、人を傷つけてしまったりする姿が見られます。

ぜひ、ご家庭と学校で教育方針の足並みをそろえていきたいと考えます。

そして、もう一つ。暴力に対して無視することもやめたいです。無視は、いじめを誘発します。暴力を振う人を無視することは、果たしてよいのでしょうか。これも何も解決になりません。というのも、その人が変わろうと思っても、もし周りから反応が返ってこなかったら、正しいかどうか分からなくなってしまいます。

確かに、「暴力を振う人が、人の言葉や意見を全く受け入れないのだから話しても無駄ではないか」と思う方もいるかもしれません。どんな人でも、きっとどこかに心があるはずです。粘り強く対話を続けていくべきだと思います。



最近読んだ本に、「教育は、自分本位の世界を抜け出し、様々な力を得る踏み台になることという視点が必要である」と書いてありました。差別や偏見、いじめのない社会を築いていくためにも、ぜひともご理解とご協力をよろしくお願いいたします。
(高田小学校長 川上 季予子)

12月のスクールカウンセラー来校日

2日・9日・16日(水) 10:30~14:00

※ ご希望の方は担任または教頭までお知らせください。

もし、何か不安なことや友達とトラブルで困ったことがあれば、部屋が空いているかお伺いください。
(スクールカウンセラー 田中より)



ING(いじめのない学校)キャンペーン

名古屋市内の小中学校が、7年前から、学校独自でスローガンを決めて取り組んできたING(いじめのない学校)キャンペーン。今年度も自分がどんな行動をしたらよいかを考えると活動に取り組みます。また、ロゴマークが新しくなるため、下の4つのマークを投票で選びます。ぜひ、ご家庭でも、「〇番がよい」とか、「何にしたの?」と会話していただければ幸いです。

取り組み期間は、11月5日～12月10日です。



①



やさしい笑顔でやさしい印象になりました。
ハートを包む手は、「愛を大切に」という
思いをこめました。

②



ハートを抱きしめて、おもしろい
表現しました。

③



「手を取り合ってみみんなで仲良くしよう」
という意味を込めて手をつないだキャラ
クターを作りました。

④



青とオレンジの組み合わせと花で、
元気でポップな印象にしました。

名古屋市教育委員会

ロゴデザイン制作



名古屋市立工業高等学校
Nagoya City Industrial Arts High School



制作担当学科：デザイン科



あいあいあはつの日について

11月2日(月)に、PTA役員の方々に、正門で大きな声であいさつ運動を行っていただきました。朝早くから呼び掛けていただきありがとうございました。

社会的距離を保ちながら立っていただいたPTA役員の方々に、元気に挨拶を返す児童、照れながら挨拶をする児童、いつもより大きな声で挨拶する児童と様々でしたが、これからはしっかり挨拶してほしいと思います。登下校を中心にこれからも声掛けをよろしく願います。

